
前夜

SG-per

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

前夜

【Nコード】

N7893D

【作者名】

S G - p e r

【あらすじ】

妙に大人びた考え方をする男子高校生の頭の中。明日初めて訪れる教室で彼は何をしようと…

今は2007年8月の下旬。高校2年の僕は明日、つまり2学期から新しい高校へ通う。まず浮かんでくる疑問は、「どうして8月に学校があるのか？」ということだ。考察してみよう、あくまで論理的に。

第1に、この高校（M高）は新潟県北部に位置している。すなわち、僕が最近まで住んでいた埼玉県の熊谷に比べれば幾分涼しい。確かに熊谷は暑い。京都と同様に、周囲を山に囲まれた盆地なのだ。それに比べれば、この地域の気候など大したことはなかった（少なくとも、僕が越えてきてからの数日間）。オーケー、実に論理的だ。

第2に、M高は進学校を気取っている。いや、これは少し、少しだけ違う。「M高は“県北の進学校”と評されている。「うん、これが正解だ。そしてそのイメージを守るため、あるいは、さらなる高みを目指すために他校に先んじて授業を開始する。やれやれ、なんて涙ぐましい努力だろう。待て、最後は僕の感想だ。したがって、この考察は実に非論理的だ。主観的で一辺倒だ。もしこの論理を学会で発表したら、ブライキングの嵐に加えて、トマトまでぶつけられるかもしれない（確かスペインにそんな祭りがあった）。まあ、8月に授業を行う理由はこんなところだ。多少無理にでも納得するしかない。とにかく、M高は明日から2学期だ。この事実を、携帯電話にカメラが付いているぐらいに当たり前のことなのだ。今更文句を言っても始まらない。

さて、次は明日の段取りを考えよう。1、担任が僕のクラス（2年3組）の面々に「宿題やったか?」、「2学期もがんばれ。」など月並みな挨拶をする。2、そして担任が僕の名を呼び、僕は教室に入る。ガラガラ。…この時に「閉店ガラガラ!」と言って入るの

はどうだろうか？いや、やはりやめよう。まず、教室内のボルテージが掴めない。さらに、40人のうち何人が“まさだおかだ”のギャグを認知しているのだろうか。以上2つの不確定要素により、「閉店ガラガラ！」はリスクが大き過ぎる。

更なる問題は、そのあとの自己紹介だ。僕は17歳になった今でも、この自己紹介という行為に対して正当性・意義を見出せない。その訳は、僕が持つ印象は人によって大きく異なり、また、僕が僕に対して持っている印象ですらあまりにも不確かだ。それは海底に溜まった砂の様に掴み処がない。

したがって、今まで僕は自己紹介の際には、“事実”のみを忠実に、そして簡潔に述べてきた。恐らく明日もこの様になるのだろう。「どうも。皆さんおはようございます。僕は」と言います。埼玉県から来ました。最近のマイブームは写真を撮る事です…。よろしく願います。」

これで明日のイメージトレーニングは十分だろう。僕はひよつとすると用意周到な性格なのだろうか？いや、考えても仕方がない。それは僕の周りの人間が決めることだ。

ある一人の人間にとって、ある種の問題は時に宿命的な命題となる。それが僕の場合は“自己紹介における正当性・意義”なのだ。恐らく、僕は大学生になり、のちに社会人に、さらに老後に至るまで、この命題の答えを考えるだろう。それは文字通り命の限り解くべき問題なのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7893d/>

前夜

2010年12月22日09時14分発行